

H24年度手話奉仕員養成講座 基礎課程



平成 24 年 11 月 14 日～平成 25 年 3 月 13 日 毎週水曜日 19:30～21:00
全 17 回の講座が終了しました！

知り合いに聴覚障がい者がいたから・・・手話に興味があって・・・職場に聴覚障がい者が来るから・・・など、手話を学ぼうと思ったきっかけはそれぞれでしたが、共通して「手話を覚えない」という一心で勉強してきました。

この講座を受ければ手話をマスターできる！というものではありませんが、大切なのは、「学習を継続する」とことと「手話を覚えない」という気持ちだと思います。

手話は、聴覚障がい者にとっての言葉です。手話によって、正確な情報を得ること、コミュニケーションを図ることができます。情報格差（例えば、災害時に避難警報が流れても、聞こえずに逃げ遅れてしまった・・・等）をなくすためにも、手話は必要なのです。

～社会福祉協議会では『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を目指しています。（聴覚障害があっても・・・）『それってどんなまち？』を、住民であるみなさんも、一緒に考えていきましょう～